

# 中堅・中小企業のインフラストラクチャで柔軟な成長とアジリティを実現する5つの重要なポイント

中堅・中小企業の成功には成長とイノベーションが不可欠ですが、中堅・中小企業がこうした成長を実現するには、コストを抑制してセキュリティを確保しつつ、柔軟に拡張できるITインフラストラクチャが必要です。また効果的に最新化を進めるには、レガシーシステムから脱却し、クラウド環境向けに設計された中核となるオンプレミスの機能を導入しなければなりません。このような柔軟な成長とイノベーションを実現するにあたって成功の鍵となる次の5つのステップに従うことが重要です。

- **旧来のレガシーITインフラストラクチャを移行する** — 旧来のオンプレミスシステムは、今日のクラウドネイティブアプリケーションやクラウドネイティブサービス向けの設計になっておらず、このようなシステムを使用する中堅・中小企業では、リソースのコスト、ダウンタイム、およびITスタッフの時間が増大しています。ハイブリッドクラウド環境で動作するように特別に構築された最新のサーバーとITインフラストラクチャを活用することにより、短期間で成長と最新化を実現できます。
- **クラウド向けに設計された「as a service」のオンプレミスシステムを活用する** — クラウドベースのソリューションを実装する最大のメリットは、コンピュー、データ、およびリソースを最適化するための柔軟性と拡張性を得られる点にあります。トップクラスの中堅・中小企業は、自社のITインフラストラクチャで「as a service」のオンプレミスシステムを活用することにより、ITエコシステム全体でクラウドベースのイノベーションを実現しています。
- **経験豊富なパートナーと連携して専門知識の不足を補う** — 経験豊富な大企業であっても最新のクラウドテクノロジーを実装するのは容易ではありません。そのため先進的な中堅・中小企業は、幅広いネットワークと新たなテクノロジーに関する知識を持つ経験豊富なパートナーに、インフラストラクチャの最新化と「as a service」のようなソリューションの展開を依頼しています。
- **セキュリティとインフラストラクチャのアップタイムを向上させる** — 旧来のオンプレミスシステムは、統合しにくかったり、システムに既知の欠陥があったり、最新の環境と連携させるのが難しかったりすることから、セキュリティリスクを増大させる可能性があります。しかし、「as a service」のシステムで既存のインフラストラクチャを最新化することにより、中堅・中小企業はセキュリティリスクを減らしてアップタイムを向上させることができます。Aberdeenの調査によると、このようなアップグレードを行った中堅・中小企業は、セキュリティを強化できる可能性が20%高いことがわかっています。
- **成長を実現して新たな要件に柔軟に対応する** — 最新のテクノロジーは中堅・中小企業の複雑性を増大させる可能性があります。しかし、イノベーションを推進しなければビジネスの成長が阻害されかねません。「as a service」のソリューションを実装することにより、中堅・中小企業はこうした障害を克服してアジリティを向上させ、イノベーションと成長を促進できます。

▶ レポート全文を読む